バリアフリーフェスタ（仮称）について

資料２

１　目的

①県民会議からの提案書に基づく取組内容を周知し、それらについて②県民から意見を収集し、各主体の取組みに反映させるとともに、③県民会議の活動を広く周知する。

２　考え方

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。

・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設定する。

・　当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。

・　県民から多くの意見をもらう形式とする。

・　来場者が気軽・身近に感じられる内容や参加型・体験型の内容を中心とする。

・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

３　概要（案）

(1) 日程

年　　月　　日（　　）　　　：　　　～　　　：

※イベント会場への資材搬入は、前日の閉店後に実施

(2) 場所

アリオ橋本

（メイン会場：アクアガーデン　※ＵＤタクシーはフロントガーデン）

※　各コーナーの割当場所は、実行委員会で調整

(3) 参加団体・内容について

・　各団体が、それぞれのコーナーで、提案書に関連した内容の展示や体験会等を実施する。

・　参加できない団体は、他団体や全体運営などの手伝いを行う。

・　メイン会場に看板を設置するとともに、各コーナーには共通ののぼり旗を設置する。看板・のぼり旗のデザインは、実行委員会で作成する。

(4) 集客方法について

・　「スタンプラリー」など、各団体のコーナーを回りたくなる仕掛けを加える。

※景品例

例１　一定以上の「スタンプラリー」達成者のうち先着○名までに「軽易な景品」を渡す。

例２一定以上の「スタンプラリー」達成者から抽選で「豪華な景品」を渡す。

例３　一定以上の「スタンプラリー」達成者のうち先着○名までに「軽易な景品」を渡すとともに、抽選で「豪華な景品」も贈呈する。

・　用意する景品については、各団体に提供できないか確認する。

・　小さな子どもをひきつけるため、ＵＤタクシー、盲導犬、ゆるキャラを活用する。

(5) 配布物について

・　事務局が作成した、県民意見募集のちらしを配付する。

(6) 広報について

・　実行委員会で、イベント周知用のちらしを作成する。

・　各団体においては、団体内の会員を始め、様々なツールを用いて広く参加を呼びかける。

・　広報の実施状況については、各団体からの報告結果を報告書に取りまとめる。

※県での広報例

記者発表、「県民の窓」（神奈川新聞）、ホームページ、相模原市の近隣小中学校へのちらし配布など

(7) 実行委員会について

・　企画部会委員、コーナーの参加団体及び参加できない団体のお手伝いの方で構成し、月１回程度開催する。

７月 情報共有、コーナーの区割り確定

８月 全体・コーナーの企画決定、広報用ちらしのレイアウト作成

９月 予行演習、看板等レイアウト作成、役割分担決定

10月 詳細スケジュール確認

・　第１回実行委員会の開催

年　　月　　日（　　）　　　：　　　～　　　：

場所

(8) 名称について

(9) そのほか